



コロナと戦っています

南小の子ども達が、コロナウイルス感染症にかかってしまいました。学校では、1月29日(土)、30日(日)に校長、教頭以下関係の職員が集まって、情報収集をしたり、善後策を考えたりしました。学級閉鎖の決断では本当に迷い、教育委員会と相談したり町の対策協議会の話し合いを待ったりしましたが、最後は学校内での感染かもしれないと考えられる感染者が分かって、決断をしました。結局、それ以降校内での感染が疑われる例は出てこなかったのですが、子ども達を守る意味では正しい対応だったと考えています。急な対応にもかかわらず、ご理解ご協力をいただいた保護者の皆さんや地域の皆さんに感謝申し上げます。

今週は、新たに感染した子は出ていませんので、南小の感染拡大は一旦止まったと見ています。ただし、県内の感染者数や会津地域の感染者数は増えていますので、これで安心というわけにはいきません。

職員一同、対策を徹底し、必要な情報をお伝えしていきます。今後もご理解とご協力をお願いします



保護者の皆さんも一緒に戦ってくださっています

- 通学バスの3密回避のために、一部の路線で自主的に自家用での送迎をしていただきましたが、2月7日(月)からは平常に戻します。ご協力ありがとうございました。
- 感染対策を続けていきましょう。
- 子ども達が集まって長時間部屋で過ごすような遊び方を避けましょう。
- 発熱などの症状が出た場合は、受診して感染の有無を確かめましょう。
- 個人の特定や、感染についてのうわさは、流さないようにしましょう。



来年度の計画を立て始めました



令和4年度坂下南小の教育活動計画は、12月頃から準備を始めています。1月、2月は、その内容について会議をたくさん開いて、一つ一つ検討していく時期です。

(スキー教室について)

先日、学校行事についての話し合いがあり、スキー教室について検討しました。以下のような意見が出されました。

- 雪国会津の特徴を生かして、雪を楽しむ行事として残したい。
- 冬の運動不足を解消するのに効果的なので継続したい。
- 継続したいという保護者のご意見がある。
- 保護者の皆さんの手間や経済的な負担を考えて、中止したい。
- 中止にして欲しいという保護者のご意見がある。
- スキーを準備してもらえない子がいる。

(学校としての結論)

スキーを準備してもらえない子の対策やスキー準備の経済的な負担軽減のために、コミセンで行っているスキーの譲渡などに学校として積極的に関わり、悲しい思いをする子や負担を感じる保護者が少なくなるようにして3年生以上で実施する。令和4年度の実施後、これらの対策を検証して、問題が解決できない場合は再検討する。



(部活動について)

令和4年度の希望を調べたところ、音楽部や相撲部の希望者が少なくて大会やコンクールに出ることができない状況になりそうです。楽しい活動として校内でできるものは、残す方向で考えたいと思います。一方、活動が成立しないほどに人数が減った場合は、休部をすることも考えなければなりません。